

両荘みらい学園

令和6年度開校

学校教育目標

ふるさとを愛し、こころ豊かに
学びあう子どもの育成



4-3-2制の導入

義務教育9年間で、1st stage(前期)・2nd stage(中期)・3rd stage(後期)の4年・3年・2年に区分することで、子どもの発達段階やスムーズな接続に配慮した連続性・系統性ある教育課程を展開します。



1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
----	----	----	----	----	----	----	----	----

めざす子どもの姿▶▶▶

1st stage 「前期4年」

- ①学習習慣・学び方を身につけ、学びを楽しもうとする
- ②地域を好きになり、様々な人と進んで触れ合おうとする
- ③仲間とのつながりの中で自分のよさを発見し、自信をもって行動しようとする
- ④基本的な生活習慣を身につけ、ルールを守ろうとする

2nd stage 「中期3年」

- ①自ら課題を発見し、主体的・協働的に解決をめざそうとする
- ②地域に目を向け、そのよさを発見し、発信しようとする
- ③様々な生き方に触れ、自らよりよく生きようとする
- ④規範意識と自律した生活習慣を自ら身につけようとする

3rd stage 「後期2年」

- ①身につけた力を生かし、未知の状況に挑もうとする
- ②地域を愛するとともに、グローバルに生きる力を身につけようとする
- ③多様性を受け入れ、自他の生命や心を大切にしようとする
- ④社会の一員としての高い倫理観を自ら身につけようとする

教師の専門性を生かした指導▶▶▶

一部教科担任制

完全教科担任制

グローバル人材の育成

英語科

ふるさとみらい科

異学年交流

9年間を見通した特色あるカリキュラムと魅力ある取組

英語科とふるさとみらい科の相乗効果で
“ふるさとを根っこにグローバルに生きる”グローバル人材の育成を目指します

英語科 ≡ Global Friendship Project ≡

1年生から英語科を導入し、英語に触れる楽しさを味わえるよう学習を進めるとともに、9年間の一貫した英語教育を推進します。

例えば、5年生から9年生まで海外協力校とオンライン交流を行うことで、よりリアルな場を設定したり、日常的に英語表現に親しむことができるよう、朝の学習等、英語に触れる機会をたくさん設けたりすることを検討しています。



▲Quiz Show "Who is this?"



▲台湾(ギャンピン小学校)の友だちと英語でオンライン交流

グローバル人材の育成



▲舞台上で堂々と演じる狂言発表の様子



▲地域の方と一緒に汗をかけた田植え体験

ふるさとみらい科 ≡ Well-Being Town Project ≡

人・自然・伝統文化・地域産業等、両荘地域のもつ魅力的な資源を生かした豊かな体験活動等を通じ、地域を愛する心の育成をめざすとともに、地域や自分自身の将来を考え、未来への期待をもつことをねらって、“ふるさとみらい科”を新設します。

ふるさとみらい科では、キャリア教育の視点を取り入れた学習もあわせて進めることで、地域を担う人材の育成をめざします。

魅力あふれる学習環境

東側に教室棟を新築するとともに、既存校舎、および体育館、武道場を改修し、学習環境を整備します。異学年交流が自然と生まれる交流スペースとなる中庭や、子どもたちが本を読んだり、イベントスペースとして活用したりできる大階段のある図書室など、子どもたちにとってよりよい学習環境となっています。また、同じ敷地内に公民館が併設されており、公民館利用者と調理室等を共同利用するとともに、地域の力をふるさとみらい科等、学習にも取り入れます。



図書室内の完成イメージ図

教員の専門性を生かした指導

教科指導の専門性をもった教員によるきめ細やかな指導ができるよう、1~6年生においても教科担任制を一部の教科で導入し、系統的な学習指導を進めます。また義務教育学校の利点を生かし、小学校課程の教員と中学校課程の教員が連携し、9年間連続した学習を進めます。

異学年交流

1~9年生が1つの学校で過ごし、休み時間や行事等で関わり合うことで、上級生は良き手本であろうとする意識や下級生を思いやる心が生まれやすくなるとともに、下級生は上級生を良きロールモデルとして目標にし、憧れを抱きながら生活することができます。学園内にあたたかい雰囲気が出るよう、多様な時間や場所で生まれる異学年交流の促進を図ります。